

2024年度事業報告書

1. 概 況

2024年度は、2019年に発生して国内で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も昨年5月に5類に移行以降、社会・経済とも落ち着いた年度であった。企業、国民の経済活動においても一段と本格的回復がみられた事業年度であった。他方では混迷を極める世界情勢、為替相場の動向などによる物価上昇、人手・人材不足など諸問題が提起される年度でもあった。

新潟県経済を振り返ると、県内では4月に新潟駅構内に商業施設がグランドオープンし、7月には佐渡島の金山が世界遺産に登録されたことにより、にぎわいが創出された。また2023年から続く賃上げの広がりを背景に名目賃金は上昇しており、個人消費を支えた。また2025年の重要課題としては、超高齢化社会を迎え、技能・技術の継承や事業承継・継続への取り組みの急務が挙げられる。

このような環境下、当協会は健康会館6つの特色（1）レディースフロアの新設（2）時間帯予約制の導入（3）3Dマンモグラフィ装置導入（4）新潟県庁となりでアクセス抜群（5）寛ぎのカフェテリア（6）豊富なオプション検査、等を積極的にPR、提案し受診者増に向かって営業推進に努めた。

2. 健康診断事業

「検査待ち時間の短縮」と「接遇の改善」に特に重点を置き、健診運営に取り組んだ。特に超音波検査は待ち時間が長くなる傾向があるため、空き時間が少なく検査が円滑に進行できるよう、連携を強化してスムーズな誘導案内を心がけた。待ち時間が発生する際には、丁寧に説明を行い、受診者がストレスなく過ごせるよう配慮し、その結果、アンケートでは「スタッフの対応が良かった」「気持ちよく過ごせた」との感想を多くいただいた。

健診終了後にはアンケートのご協力をお願いし、回収率は90%を超えている。集めた意見は当日の反省会で発表し、改善点を共有。改善が必要な点については、迅速に協議し、改善策を実施している。長期的な振り返りを行うために、定期的にアンケート会議を開き、運営状況を見直している。

8月からは電子カルテが導入され、業務部と連携して、紹介状の発行などをスムーズに進められるよう運用を整備した。

巡回健診においては、現場ごとの状況を適切に確認し、スムーズな運営に努めた。スケジュールや設営の見直しを行い、次年度に活かせるよう改善を図っている。